

# 大阪コリアタウン歴史資料館

2023 sat

4.29

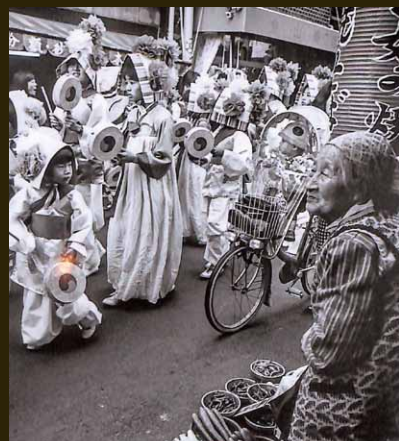
13:00~OPEN

場所の記憶が未来への光源となる

大阪市生野区に大阪コリアタウン歴史資料館を設立します。

大阪コリアタウン歴史資料館に立ち寄り、ひとときを過ごすことで、地域に刻まれた歴史に想いを馳せ、共に生きてきた人びとの姿に出会い、誰もが未来を創り出す可能性を手に行っていることに気づく、開かれた場づくりを目指していきます。

大阪コリアタウン歴史資料館に多くのみなさまが関心を寄せてくださるとともに、ぜひご来場、ご支援いただけますようよろしくお願いいたします。



大阪コリアタウン歴史資料館

[入館料] 300円(税込) [開館時間] 午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)

[休館日] 毎週水曜日(但し12/25~1/3は休館 ほか臨時休館日あり)

〒544-0034 大阪市生野区桃谷4-4-11 E-mail: oktm0609@gmail.com

<https://oktmuseum.or.jp>

大阪コリアタウン歴史資料館 検索



OSAKA KOREA TOWN MUSEUM

大阪コリアタウンは、かつて猪飼野という地名であった地域の真ん中にあります。猪飼野という地名は港であることを示す「猪甘の津」に由来し、百済などから人びとが渡来し居を構えたのです。

1920年代には「日本国猪飼野」を住所地に書くだけで、朝鮮半島とりわけ済州島からの郵便が届いたといわれます。当時、大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほどの一大工業都市へと様変わりしつつあり、日本の植民地下で困難な生活を強いられた人びとが、朝鮮半島そして済州島から生活の道を求めて渡ってきたのです。

1990年代に入り、かつて朝鮮市場と呼ばれていた御幸通商店街は通りを整備し、2000年代には日韓ワールドカップ開催や韓流ブームの勢いも重なり、いまやコリアタウンは、年間200万人が訪れる一大観光地となっています。当資料館では現在から過去は1910年代へとさかのぼり、コリアタウンの成り立ちをひもとき、その生活など、人々が生きてきた姿を写真と図表、動画などで展示します。

## イントロダクション

- ・世界の中の大阪コリアタウン
- ・生野区の外国人

## 1910年～1945年

- ・「猪飼野」の地名の由来
- ・猪飼野の市街化
- ・宛名「ニッポン国猪飼野」だけで郵便が届いた街
- ・解放／敗戦前の猪飼野風景

## 1945年～1988年

- ・路地裏の「朝鮮市場」が表通りに
- ・生活の場としてのコリアタウン
- ・地図から消えた「猪飼野」
- ・新たな挑戦「くさいもの」からおいしいキムチへ

## 1988年～現在

- ・時空をこえる交流のうた
- ・葛藤から共生へ
- ・コリアタウン構想
- ・「共に生きる」学びの場
- ・「潤の街」からコリアタウンへ

## 生活と風俗

- ・冠婚葬祭と衣食住
- ・大阪コリアタウントリビア

## 賛同人・賛同団体募集のお願い

団体会員 一口5万円／年・個人会員 一口5千円／年  
 ご賛同してくださる方は、当ホームページの申込フォームより必要事項をご記入の上、送信してください。右のQRコードからもホームページにアクセスできます。  
 ご賛同いただいた方には、本資料館の最新の情報をメールにてお届けします。



a



b



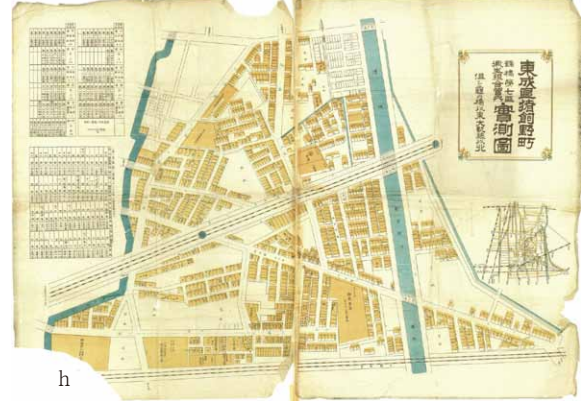
c



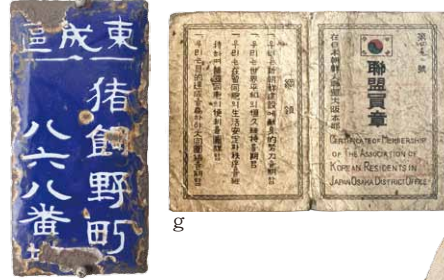
d



e



h



f



g



i

- a.旧一条通の映画館「日の丸」館／1933年頃
- b.大阪港から入国する朝鮮人／1920年代
- c.1960年代の旧朝鮮市場（現大阪コリアタウン）
- d.1933年の朝鮮市場
- e.ハン글表記の表札／1960年代
- f.猪飼野町住所表示板
- g.在日本朝鮮人聯盟 聯盟買証
- h.東成区猪飼野町 実測地図
- i.「共生の碑」裏面に刻まれた金時鐘詩人の献詩「おもて面」  
 上.店頭にくみシが並ぶ朝鮮市場(1933年頃)  
 中生野民族文化祭パレード(1980年代)  
 下.猪飼野保存会のだんじり(2022年)



◇JR・近鉄・地下鉄「鶴橋」駅から徒歩13分  
 ◇JR「桃谷」駅から徒歩12分 ◇近鉄「今里」駅から徒歩17分